

フェアリーステークス

フェアリーSは15年にヴァーミリアン産駒のノットフォーマルが11人気で優勝。

パイロ産駒のビービーバーレルが16年に優勝。

どちらも産駒はダート中距離適性が高い馬がほとんど。

どちらの馬もその後、芝マイル以上の重賞で連対しなかったことから、当レースが独特の能力の個性を問われたために勝てたといえるでしょう。

過去10年のフェアリーSは、ディーパインパクト産駒が2勝。
馬券対象馬も5頭。複勝率も50%。

ディーパインパクト、サンデーサイレンスを持つことは減点にならず。
なかでも、馬力寄りに配合された馬が好走。

ディープと全兄弟のブラックタイド、オンファイア産駒も結果を残していること。

17年はブラックタイド産駒のライジングリーズンが10人気で優勝。
13年はウキヨノカゼが5人気で2着。

オンファイアとブラックタイドは現役時代の馬体重が500キロ近くディーパインパクトよりも大型。キレや直線スピードと相反する馬力勝負に強いタイプ。

昨年の有馬記念もブラックタイドの孫イクイノックスが優勝。

中山金杯もブラックタイド産駒のフェーングロツテンが僅差の3着。
年末年始の中山芝は、サンデーサイレンス、ディーパインパクト(に近い血)を馬力寄りにカスタマイズした配合馬が走りやすいです。

まとめると、ダート中距離競馬で強く問われる持続力。ゴール前の負荷が重いタフな芝で問われる馬力に優れた血統馬が走りやすいレース。

本命はディナトセレーネ。

父がレッドファルクス。中山芝 G1 のスプリンターズ S を優勝。

加えてダートの OP 特別の勝利実績馬。
当レースで問われるパワーと馬力に優れた馬。

祖母がダイワスカーレット。
有馬記念も圧勝した馬。牝系にスカーレットインク。

ヴァーミアンと同牝系。ダートと年末年始の中山芝を好む血統馬。

相手はディープを持つ馬を重視。

今年の 3 歳世代重賞は、ディープ直仔は減っていますが、
結局ディープの孫が 1 頭は馬券になるレースがほとんど。

馬力寄りのディープで注目はダノンバラード産駒。
4 アンタノバラード、6 ミシシッピテソーロは同種牡馬の産駒。

4 アンタノバラードは母系にも中山芝得意のグラスワンダー。
6 ミシシッピテソーロの前走は外枠不利。前々走はキレ負け。

5 ヒップホップソウルの父キタサンブラックは年末年始の中山芝重賞。
当レースでも注目のブラックタイトの仔。